

一般質問



専用アプリで読み取ると
議会中継がご覧いただけます。

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針等について質問したり、説明や報告を求めたりするものです。

6月定例会では13人の議員が一般質問を行いました。各議員の主な質問は次のとおりです。

詳細は次の方法よりご覧ください。

◆インターネット議会中継

生中継（開催日のみ）・録画放映がご覧いただけます。

◆会議録

冊子は市役所市政情報コーナー、図書館、地域公民館でご覧いただけます。なお、会議録はインターネットでもご覧いただけます。

※6月定例会の会議録は9月に発行予定です。

公園の利活用

水城公園でマルシェなどのイベントを開催できないか

野本翔平
(新政策研究会)

問 最近、近隣の市町村の公園で色々なマルシェが開催され、若者や多くの人が集まり、にぎわっている。本市もまちづくりでマルシェを活かすべきだと考える。水城公園はマルシェの開催に適していると考えますが、市の見解は。

答 水城公園は中心市街地でありながら、忍城址やしのぶ池、市民広場、散策路など多くの市民が憩い、市街地における貴重な公共空間となっている。現在の都市公園は多様な市民ニーズに応えるべく、様々なイベントに活用されており、マルシェも水城公園のさらなる魅力向上につながると考えている。

問 市民が公園でマルシェを開催したい場合、どういった手続きが必要か。

答 行田市都市公園条例に基づいて手続きを行う必要がある。具体的には、市に申請を行い、内容を精査した上で問題がなければ許可をするという流れである。

問 市民のモチベーションを削いでしまうことなく、また、後方支援により、マルシェなどの活動を盛り上げてほしいと思うが、市の考えは。

答 現在は事業が単発となってしまう。例えば軽トラ朝市は毎月第三日曜日の朝に開催しているが、あまりうまくいっていない。マルシェに限らず、良い考えがあれば提案していただきたい。今は利用度が低すぎるため、もう少しにぎやかにできればと考えている。

その他の主な質問
○生物多様性地域戦略の策定について
○本市公共施設にベビーカー、おむつ交換台はあるか

市長の公約

市長に問う「広域ごみ処理施設」の説明責任について

町田光
(黎明21)

問 平成31年3月定例会において、鴻巣行田北本環境資源組合による3市での「広域新ごみ処理施設」に関する住民説明会の開催を市長に求める請願が採択されたが、今後、市民に説明する機会を設けるのか。また、市長の公約である「広域新ごみ処理施設は、行田市小針に建設」とあるが、これまでの事業内容とは異なっている部分があり、その異なった部分と市長の思い描く「広域新ごみ処理施設」を市民に対し説明する機会を設けるのか。さらに、建設予定地を行田市小針とする考えを市民に説明するのか。

答 平成30年度までの事業内容を市民に説明する機会を設ける予定はない。これまでの話ではなく、これからどうやっていくのか、またはこうしたいというような話は、市民

に説明していきたい。公約については、5月24日の鴻巣行田北本環境資源組合正副管理者会議において、小針の市有地の有効活用及び事業の総額を示すよう提案した。今後、構成3市の副課長と組合事務局で協議を行い、正副管理者会議を開催し、改めて協議することになっている。3月定例会で請願が採択されたことは重く受け止めているが、方針が固まった後、適切な時期に経緯も含めて丁寧に説明したい。現時点では、具体的に言えないが、1点だけははっきりしている。「小針の土地を利用する。」そして市民負担を最小限にする。この趣旨だけは守りたい。ある程度、方向性が見えてきたときには、小針地区の住民の方をはじめ、市民に説明していく。